

新潟の未来をSaGaSuプロジェクト

目的

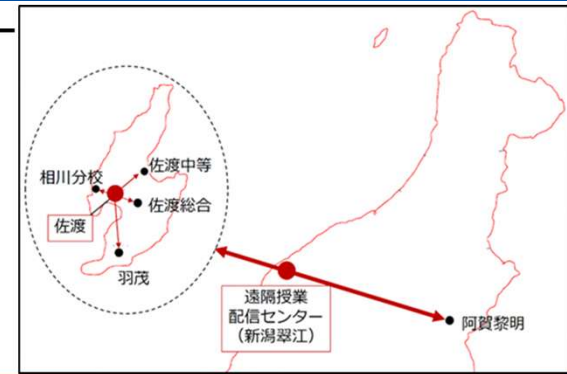
- Sado(佐渡)とAga(阿賀)とSuikou(新潟翠江)のネットワーク7校の取組で、新潟の高校教育の未来を拓く**
- 遠隔授業をとおして、生徒のニーズに応じた多様な教科・科目の開設を行い、離島・中山間地域の教育環境の充実に図る。
 - 佐渡市、阿賀町両自治体が推進するキャリア教育を基盤として、地域と一体となって有為な地域人材を育成する。

現状

- 本県の人口減少と少子化の急速な進行
 - ・ 若者を中心として社会減少数が全国平均以上
 - ・ 都市部と離島・中山間地域との間の人口偏在（医師の地域偏在を表す指標で全国最下位）
 - ・ 佐渡市・阿賀町の中卒者数は20年前に比べ約半減
- 通学範囲の広さと通学手段の不便さ
 - ・ 離島である佐渡市は、東京23区の約1.4倍の面積に県立高等学校等が5校点在
 - ・ 福島県境にある阿賀町は、県内有数の豪雪地域で、町に唯一ある高等学校以外への通学には30km以上の距離
- 県立高等学校等の小規模化の進行
 - ・ 本県の全日制及び定時制課程県立高等学校・中等教育学校89校のうち47%が1～3学級（令和3年度募集）

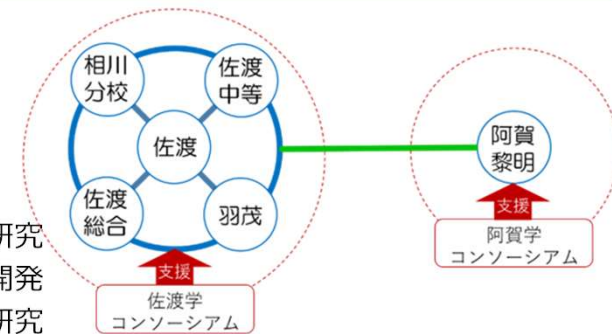
1. 遠隔授業に関する取組の概要

- **新潟市内に立地する新潟翠江高等学校に遠隔授業配信センターを設置し、授業及び補習等を配信**
 - 理科、地理歴史・公民、芸術等の専門教員による授業
 - 国語、数学、英語の習熟度別に対応した授業
 - 大学進学や検定対策など、生徒のニーズに応じた各種補習
- **新潟の魅力や最先端技術を踏まえた授業配信**
 - 本県の地形的・地質的特徴を学ぶ「地学基礎」を教育課程で共通化
 - VRや専門人材の活用を踏まえた「福祉」科目の授業



2. 地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築に関する取組の概要

- **佐渡学コンソーシアムと阿賀学コンソーシアムの構築**
 - 共通理念は、生徒を「主語」に、大人も「ワクワク」
 - 地域資源の活用や、SDGsを踏まえた「探究的な学び」の充実
- **コンソーシアム内外の学校間連携の推進**
 - 佐渡島内5校による、佐渡の魅力の情報発信
 - 異なった環境に立地する「地域探究コース」同士の交流、共同研究
例：佐渡・阿賀の魅力を知る観光周遊ルートや体験型メニュー開発
：離島・中山間地域が自給できるクリーンエネルギーの調査研究



3. ネットワークを構成する学校

- 新潟県立佐渡高等学校(全日制、普通科)
- 新潟県立佐渡中等教育学校(普通科)
- 新潟県立佐渡高等学校相川分校(定時制、普通科)
- 新潟県立阿賀黎明高等学校(全日制、普通科)
- 新潟県立羽茂高等学校(全日制、普通科)
- 新潟県立新潟翠江高等学校(定時制・通信制、普通科)
- 新潟県立佐渡総合高等学校(全日制、総合学科)